

K 世界史問題

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ～Ⅲとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

地中海西部では、8世紀頃からカタルーニャやシチリアの海賊が活動していた。のちに北イタリアのジェノヴァやヴェネツィアは、中東からの香辛料や絹織物を船でヨーロッパ各地に運ぶ貿易商人の拠点となっていたが、海賊はそれらの商船を待ち伏せして襲撃した。

8世紀後半以降は、スカンディナヴィア半島やユトランド半島に住んでいたノルマン人の一部が、商業や海賊・略奪行為を目的として海上遠征をおこなうようになった。(イ)と呼ばれておそれられた彼らは、細長く底の浅い船を操って河川にも侵入し、時には陸上で船を引っ張って移動しながら、内陸深くまで到達した。リューリク(ルーリック)を首長とする一派は、バルト海沿岸から進入し、(ロ)川流域に進出してスラヴ人を支配した。ユトランド半島を本拠地とするデン人は9世紀半ば以降、大ブリテン島に進出し、アングロ=サクソン人の王国にたびたび攻め入った。ロロを首長とする一派は、フランス北岸からセヌ川をさかのぼってパリを攻略し、10世紀初めに西フランク王と封建的主従関係を結んでノルマンディー公国³⁾を建てた。ロロの子孫であるノルマンディー公ウィリアムはのちにイングランドに侵入し、1066年の(ハ)の戦いに勝ってノルマン朝を創始した。12世紀前半には、ノルマンディー公国から分かれた一派が地中海に進出し、(ニ)がシチリア王国を建てた。ノルマン人はその後もしばらく移動を続けたが、13世紀までにはそれぞれの地域に定着し、同化していった。

東アジアでも、14世紀から16世紀にかけて海賊行為が頻繁に見られた時期があった。宋の朝貢体制が崩壊し、モンゴル帝国の盟主であった元朝の影響力も衰退すると、14世紀後半には日本に拠点を置いた武装集団が朝鮮半島や中国の沿岸を襲い、略奪をおこなうようになった。これは前期(ホ)と呼ばれる。朝鮮半島の豪族であった(ヘ)はこれを撃退して功績をあげ、高麗を倒して国号を朝鮮と改めた。また、1368年に明朝を建てた洪武帝は、海賊行為をおさえるために(ト)政策をとって民間人の海上交易を禁止し、政府の管理する朝貢貿易制度を整えた。日本の足利義満も明との貿易を望み、明は(ホ)の取り締まりを条件にそれを認め⁸⁾た。16世紀に入ると、私貿易商人たちが武装して(ト)に抵抗し、中国や朝鮮の沿岸地域を襲撃した。これを後期(ホ)と呼ぶ。明は16世紀後半に(ト)を解除し、(ホ)の活動もやがて沈静化した。

15世紀にヨーロッパが大航海時代に入ると、海賊がもたらす莫大な利益を国力増大に結びつけようともくろむ君主もあらわれた。⁹⁾イギリス女王エリザベス1世は、アメリカ大陸から銀を運ぶスペイン船団を襲撃する私拿捕船に出資していたことが知られている。エリ¹⁰⁾

ザベス1世治下のイギリス艦隊は1588年にスペイン艦隊を破り、スペイン王フェリペ2世に大きな打撃を与えたが、この戦いでイギリス側の副司令官をつとめた(チ)は、第3司令官であったホーキンスとともに海賊として知られた人物であった。カリブ海や大西洋では、17世紀から18世紀初頭にかけて海賊行為が特に活発になった。この時期の海賊行為の多くは、当時のヨーロッパ諸国間に顕在化していた貿易や植民地支配をめぐる衝突のなかで生じたもので、たとえば、スペイン継承戦争終結後には、職を失った水兵らが海賊に転じ、大西洋で三角貿易に従事する商船を襲撃することもあった。

A. 文中の空所(イ)～(チ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～15)にそれぞれ対応する次の問1～15に答えよ。

1. これら北イタリア諸都市と地中海東岸のイスラーム商業圏との間では、11世紀以降、遠隔地貿易が活発化した。この貿易の名称として用いられている地中海東岸地方の名をしるせ。
2. 1016年にアングロ＝サクソン人の王国を征服したデーン人の王の名をしるせ。
3. 987年に西フランク王国のカロリング朝が断絶したのち、パリを拠点とする人物が国王となってフランスを統治した。この人物の名をしるせ。
4. これに関する記述として正しいものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 13世紀初め、遼の支配下にあったモンゴル高原南部でモンゴル族のテムジンが勢力をのばし、内陸アジアの騎馬遊牧民を統合してモンゴル帝国を建てた
 - b. ハイドゥが率いた軍は、西北ユーラシアのキプチャク草原を制圧して東欧に侵入し、ワールシュタットの戦いでドイツ・ポーランド連合軍に勝利した
 - c. フビライ＝ハン¹³⁾は現在の北京の地に都を定めて国名を中国風の元と改め、南宋を滅ぼした
 - d. 北宋を滅ぼしたオゴタイ＝ハン¹⁴⁾は、モンゴル帝国の首都として、モンゴル高原中央部にカラコルムを建設した
5. 高麗の建国者の名をしるせ。

6. この皇帝の時代に始まった制度でないものを，次の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。
- a. 一世一元の制 b. 衛所制 c. 府兵制 d. 里甲制
7. 15世紀初頭に明朝の帝位についた永楽帝は，南海諸国の朝貢を勧誘するために，東南アジアやインド洋に船団を派遣した。この船団を率いた人物の名をしるせ。
8. 明は貿易の相手国に割符を与え，正規の貿易船であることの証明としてそれを用いた。日本との間でも1404年から用いられた，この方法による貿易を何と呼ぶか。その名をしるせ。
9. これに関する記述として正しくないものを，次の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。
- a. ジェノヴァ生まれのコロンブスは，スペインのイサベル女王の支援を受けてパロスを出港し，大西洋を横断してサンサルバドル島に到着した。
- b. バルトロメウ＝ディアスは，ポルトガル王ジョアン 2 世に命じられてリスボンを出港し，アフリカ南端の喜望峰に達した。
- c. マゼランはポルトガル王室に命じられ，モルッカ諸島を目指してセビリャを出港し，インド洋を経てフィリピンに達した。
- d. リスボンを出港したヴァスコ＝ダ＝ガマは，アフリカ東岸でアラブ人の水先案内人を雇い，インド西岸に達した。
10. 1545年に発見されたアメリカ大陸最大の銀山の名をしるせ。
11. 当時，強勢を誇ったスペイン艦隊は，ローマ教皇やヴェネツィアなどとの連合艦隊に参加し，1571年にオスマン帝国の艦隊を撃破した。この戦いの名をしるせ。
12. フェリペ 2 世は1580年にある国の王位を継承した。その国の名をしるせ。
13. 1617年に設立され1621年に大西洋貿易の特許を得た西インド会社は，貿易活動のみならず私拿捕や略奪にも携わった。西インド会社を設立した国の名をしるせ。
14. スペイン継承戦争でフランスに敵対して戦った国でないものを，次の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。
- a. イギリス b. オーストリア c. オランダ d. スウェーデン
15. 三角貿易に関する次の問 i～iii に答えよ。
- i. この貿易で取り扱われた商品に，綿花・砂糖・コーヒーなどがある。これらの農作物の栽培を移植された国や地域では，その後も特定農作物の栽培とそれらの輸出に依存する状況が続くことがあった。このような農業生産のありかたを何と呼ぶか。その名をしるせ。

ii. 大西洋の三角貿易では、北アメリカや西インド諸島で生産された綿花がヨーロッパへ輸出され、これを受けてイギリスでは綿工業が発達した。イギリスで1760年代に水力紡績機を実用化した人物の名を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

a. アークライト

b. クロンプトン

c. ジョン=ケイ

d. ハーグリーブス

iii. 19世紀初頭に始まったイギリスと中国、インドを結ぶ三角貿易ではアヘンが取引され、アヘン貿易はやがてアヘン戦争を引き起こした。この戦争の講和条約として調印された南京条約において開港された港でないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

a. 厦門

b. 上海

c. 南京

d. 寧波

Ⅱ。 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

中・東欧では古くから、様々な民族が繁栄と衰退の歴史を歩んできた。古代ローマは黒海西岸地域を属州化していたが、3世紀頃からゲルマン人が同方面に侵入するようになった。4世紀にはフン人の西進に伴い、ゲルマン人がさらにローマ領内へ侵入を続けた。フン人は（イ）王のもとに勢力を増したが、カタラウヌムの戦いに敗れて衰退した。その後6世紀には、アヴァール人が中央ヨーロッパに進出してきた。

東欧諸民族は、周辺勢力との関係によってその宗教的立場も影響を受けた。9世紀に西スラヴ人が建てたモラヴィア王国は、東フランクの²⁾ルートヴィヒ2世の遠征を退けて一時勢力を増したが、そこではフランク人宣教師が³⁾布教活動を展開していた。モラヴィアが10世紀にマジャール人に滅ぼされると、この地にフランクの教会勢力が定着した。9世紀後半にモラヴィアの支配を離れたボヘミアは、10世紀にザクセン朝のハインリヒ1世の遠征を受け、その宗主権を認めた。プラハに設置された司教座は⁴⁾マインツ大司教座の管轄下に置かれたので、ボヘミアはドイツとの結びつきをますます強めていった。モラヴィアを滅ぼしたマジャール人は、パンノニアを拠点に周辺地域への遠征を行ったが、955年のレヒフェルトの戦いで（ロ）の率いる軍に敗れた。

14世紀になると、バルカンに進出してきたオスマン帝国が（ハ）に首都を置いて勢力を拡大した。1526年の＜あ＞の戦いに勝利したオスマン帝国はハンガリーもその支配下におさめ、ウィーンを包囲してヨーロッパに脅威を与えたが、17世紀後半の第2次ウィーン包囲に失敗し、1699年の（ニ）条約によりハンガリーをオーストリアに割譲した。

19世紀には、バルカン諸民族のオスマン帝国からの独立運動が盛んになった。1821年にはギリシアが独立戦争を起こし、オスマン帝国は1829年の（ハ）条約でその独立を承認した。ただしバルカン方面におけるナショナリズムの高揚には、同地域に利害関係をもつ大国の干渉が常につきまとった。たとえば、ロシア＝トルコ戦争の後1878年に結ばれた（ホ）条約は、ロシアの勢力拡大につながる内容のものだったため、オーストリアとイギリスがこれに反対した。同年改めて結ばれたベルリン条約でいくつかの国の独立が国際的に承認されたが、＜い＞はオスマン帝国内の自治国とされた。

20世紀に入るとオーストリアが、青年トルコ革命後のオスマン帝国の不安定化に乗じて、バルカン方面での勢力拡大に乗り出した。また、ロシアの指導で結成された⁵⁾バルカン同盟は⁶⁾イタリア＝トルコ戦争に乗じてオスマン帝国に宣戦したが、領土分配をめぐる対立は同盟国間の戦争に発展し、民族間の対立が激化していった。

A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>・<い>にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

<あ> a. アンカラ b. ニコポリス c. プレヴェザ d. モハーチ

<い> a. セルビア b. ブルガリア c. モンテネグロ d. ルーマニア

C. 文中の下線部 1)～6)にそれぞれ対応する次の問 1～6 に答えよ。

1. 3世紀ごろダキアなどのローマ領内に侵入したゲルマン人の一派は、後の民族大移動の際、イベリア半島を経て北アフリカに渡って建国した。このゲルマン人の一派を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. ヴァンダル人 b. 西ゴート人
c. ブルグンド人 d. ランゴバルド人

2. 中世前期の東欧の宗教に関する次の問 i・ii に答えよ。

i. ビザンツ帝国に服属してギリシア正教を受け入れたスラヴ系民族を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. クロアチア人 b. スロヴェニア人
c. セルビア人 d. ポーランド人

ii. キリスト教布教のために作られ、スラヴ圏東部に普及していった文字は、後にロシア語などで用いられる文字の原形となった。宣教師の名前にちなんでつけられたこの文字の名をしるせ。

3. この王は870年に、西フランクのシャルル2世との間で中部フランクの分割・併合を取り決める条約をとりかわした。この条約の名をしるせ。

4. マインツにはロマネスク様式の大聖堂がある。これと同じ様式の建築物を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. アミアン大聖堂 b. シャルトル大聖堂
c. ハギア=ソフィア聖堂 d. ピサ大聖堂

5. この革命により、1878年以来停止されていたミドハト憲法が復活した。1878年にこの憲法を停止したオスマン皇帝の名をしるせ。

6. この戦争の結果、イタリアがトリポリとともに併合した地域を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. エリトリア b. キプロス島 c. キレナイカ d. マルタ島

Ⅲ。次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

ナポレオン失脚後のウィーン会議でフランス外相（イ）が提唱した正統主義により、フランスでブルボン王家が復活した。この王政復古期に帰国した亡命貴族たちは中世的伝統を賛美したが、このことは文学や芸術におけるロマン主義流行の一因になったとも言われる。しかし、やがてロマン主義は、『レ・ミゼラブル』の作者として知られる作家くあ>が「遅れてきたフランス革命」と称したような性格を帯びてくる。古典主義的な形式主義が、革命によって倒されていく旧体制に喩えられたのである。

ヨーロッパにおけるロマン主義の文人や芸術家は、19世紀という時代の激動と深く関わりをもった。たとえば、画家（ロ）はフランス七月革命を題材に「民衆をみちびく自由の女神」を描いた。また、ドイツの詩人（ハ²⁾）は七月革命に刺激されてパリに亡命し、後に社会主義に傾倒して「革命詩人」と呼ばれた。イギリスの詩人バイロンはギリシア独立戦争に参加した。

フランスの芸術家たちは19世紀中期以降も、社会の変化・動揺にさらされつづけた。たとえば、「石割り」などの作品で知られる写実主義の画家くい>は、相次ぐ革命を経てもなお問題をかかえた社会の現実、とりわけ農民や労働者の生活風景をありのままに描こうとした。さらに1870年に勃発したプロイセン＝フランス戦争もまた、芸術家たちにさまざまな経験をもたらすことになった。フランスの敗色濃厚な中たてられた（ニ）を首班とする臨時政府は、1871年ドイツと講和条約を結んだ。講和条件に不満をもった首都市民は（ホ）と呼ばれる自治政府を樹立したが、あえなく鎮圧された。くい>はこの自治政府に参加したことでも知られている。また、19世紀後半には光と色彩を重視した画風の（へ）派とばれる画家たちが活躍するが、その代表者であるマネやルノワールはプロイセン＝フランス戦争に従軍し、一方モネは兵役をのがれるためにロンドンに渡りイギリスの画家の作品を研究した。このように、芸術家たちはそれぞれの立場でこの戦争と向きあったのであった。

A. 文中の空所(イ)～(ヘ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>・<い>にあてはまる人名を、それぞれ対応する次の a～d から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- | | | |
|-----|-------------|-----------|
| <あ> | a. シャトーブリアン | b. スタンダール |
| | c. バルザック | d. ユーゴー |
| <い> | a. アンゲル | b. クールベ |
| | c. ドーミエ | d. ミレー |

C. 文中の下線部1)・2)にそれぞれ対応する次の問1・2に答えよ。

1. 1814年に即位してブルボン朝を復活させたフランス王の名をしるせ。
2. この革命は、1830年の七月勅令で王シャルル10世がうち出した措置に反発する市民の蜂起から始まった。この措置の内容のうち「選挙権の制限強化」以外の2つをしるせ。順序は問わない。